

うきは市新川田箆(福岡県)

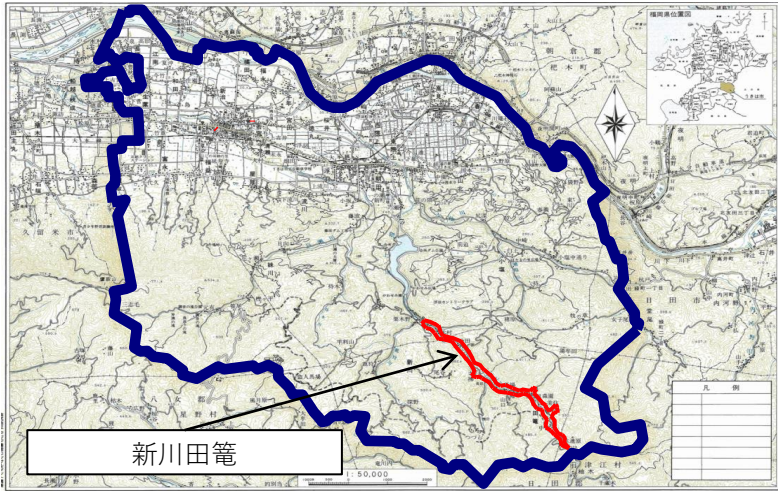
(1) 保存地区の概要

地 区 名	うきは市新川田箆
種 別	山村集落
面 積	約71.2ヘクタール
選定年月日	平成24年7月9日
特 徴	豊かな水系によって発達した石垣による棚田がたくさん見られるとともに、国の重要文化財に指定されているくど造り民家「平川家住宅」をはじめとして、茅葺き民家が多く残っていて、伝統的茅葺き民家と棚田が谷に沿って連続する魅力的な景観となっている。



(2) 保存地区のあゆみ

昭和46年	「平川家住宅」国重要文化財指定
平成7年	第1回棚田inうきは彼岸花巡り
平成9年	「日森園山荘」で地域の宝探しイベント
平成10年	「棚田オーナー制度」スタート
平成11年	新川地区の葛箆棚田「日本の棚田100選」に選定
平成18年	新川・田箆地区民家保存シンポジウム
平成20～21年	新川田箆の伝統的建造物群保存対策調査実施
平成21年	森林セラピー事業開始
平成23年	街なみ環境整備方針の承認 伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則改正
平成24年	国の重要伝統的建造物群保存地区選定 九州北部豪雨災害により被害を受ける
平成24年～平成29年	九州北部豪雨山村復興プロジェクト開始 滞在型交流施設「注連原住宅」運営開始
令和5年	茅葺フォーラムinうきは開催



(3) 保存地区の保存と整備

修理・修景件数(令和7年度まで)

建造物修理	44件
建造物修景	2件
石垣等修理	8件
合 計	54件



修理前

修理後

平成24年 九州北部豪雨災害



災害により多数の家屋・石垣等が被害を受ける
伝建事業による修理9件

伝建修理事業(災害復旧)



修理前(被災直後)

修理後

(4) 保存地区の活用とまちづくり



国指定重要文化財 平川家住宅
凹型寄棟造の茅葺住宅 (一般公開)



滞在型交流施設「注連原住宅」
宿泊施設として、地域団体で指定管理運営



森林セラピー
(日本棚田百選「つづら棚田」)

【茅葺フォーラムinうきは】 令和5年実施

- ・基調講演
- ・パネルディスカッション
- ・ワークショップ
- ・フィールドワーク



茅葺フォーラムinうきは



茅葺ワークショップ



彼岸花めぐり
(日本棚田百選「つづら棚田」)

(5) 住民等の取組

(保存団体)

新川、田箆地区の各自治協議会を中心に、各種まちづくり活動や保存活動を行っている。

(住民の声)

伝建地区にある築160年ほどの茅葺き屋根の古民家に一目で心を奪われ住むことを決心しました。古民家なので気密性が低く、冬は寒い造りですが、伝建地区の保存指定物件に対する補助金等を活用し、景観は守りながらも内装は現代の生活に合わせて改修し、そのノスタルジックな家の中で快適な生活を送っています。

(新川田箆伝建地区在住、自営業、移住者)